

海外安全対策情報（平成26年度第2四半期）

1. 社会・治安情勢

当地社会情勢は、引き続き安定しているものと認められ、デモ等の集団示威行動などは確認されていない。

一方で、政府は、国民生活に直結するガソリン価格に対する政府補助金の削減等について言及している。そのような中、本年1月及び2月には政府職員にまつわる贈収賄事件や職権濫用事件等が明るみに出ており、これらを受けて政府に対する国民の不満が募り抗議行動などに発展するなど、治安情勢に影響を与える可能性も否定できず、注意を要する。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 概要

ア 2013年の犯罪認知状況

2013年の犯罪認知件数は、対前年比で、強盗及び窃盗が13%減、殺人が12%減、放火が24%減、通貨偽造が29%減、倫理に関する犯罪が21%減、虐待が7%減であったが、薬物関連事犯は96%増、労働法及び居住法違反は55%増であった。

警察では、窃盗を含む犯罪のほとんどは、当国に不法入国し、労働法や居住法に違反する外国人により行われていると分析している。

イ 窃盗事件発生状況

5月中は、114件の事件が発生し、117名の被疑者が逮捕された。

7月中は、73件の事件が発生し、66名の被疑者が逮捕された。

(2) 邦人被害事案

発生なし。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 7月上旬、Seebにおいて、建築業に従事する同国籍の部下が指示に従わないことに腹を立て殴打殺害したアジア国籍の者が逮捕された。

イ 8月上旬、Ibriのショッピングセンターに、精神障害を有するオマーン人男性（24歳）が銃を2丁所持して入店、店内で1発発砲したが、人的・物的被害は無かった。その後、男は駆けつけた警察に逮捕された。

ウ 8月上旬、Al Khuwairの銀行ATM内部にカメラと機械を取り付けて利用者のキャッシュカードのデータを盗み取ろうとしていた2名が逮捕された。

エ 8月下旬、外国人女性が夜10時頃、Al Khuwairからタクシーに乗ったところ、先客（運転手と共犯と思料される）から性的な嫌がらせを受け、これを抵抗するため取っ組み合いになり、負傷する事件が発生。

オ 9月下旬、Ruwiにおいて、殺人の上、被害者の車両・現金を盗んだアジア国籍の者3名が逮捕された。

3. テロ・爆弾事件発生状況
発生なし。
4. 誘拐・脅迫事件発生状況
日本人に関係する事件の発生はなし。
5. 日本企業の安全に関わる諸問題
具体的な脅威情報には接していない。

以上